INFORMATION & OTHERS

シーズンクライマックスをどうぞ満喫してください !!

8月真夏の SUGO でようやくスタートした今シーズン。僅か 4 戦の短期決戦ですからね。あっという間にクライマックスが来てしまいました。

2 度目の SUGO と前回九州で行われた IA1 のトリプルヒートはみなさんご覧になりましたか ? さすがに 15 分は短か過ぎるだろうと思っていたんですが、スタートからゴールまでバトルに次ぐバトルでこれがなかなか面白い。来シーズンに関してはこれから協議されるようですが、ぜひ来年もやって欲しいし見て欲しいレースフォーマットです。

11 月末というかつてない遅い時期にずれ込んだ最終戦。例年なら夕暮れのパドックで行われるタイトル決定のセレモニーも、果たして観客のみなさんに見て貰えるのかどうか。それでもまずは開催して貰えたことに感謝ですよね。そしてなんとかこの窮地を乗り切って、来年は思う存分楽しめるように、ファンもライダーもスタッフさんもみんなで協力しましょう。

感染者数の増加やクラスターなど、嫌なニュースが再び多くなっています。万が一会場内でクラスターが発生なんてことになったら、今後の開催も危うくなってしまいます。くれぐれも、感染拡大防止のガイドラインに沿って観戦してくださいね。

さて、国内屈指のテクニカルコースであるウエストポイント・オフロードヴィレッジ。最大の特徴は、トリッキーなターンと連続するジャンプ。パッシングが難しいだけに、手に汗握るバトルが楽しめると思います。

高低差がないので、スタート横とバックストレートの観戦席が見やすいとは思いますが、トップライダーの走りを間近で見れるのがこのコース最大の魅力でもあります。ライダーの視線や息遣いをぜひ感じながらレースを楽しんでください。

レース前に掘り返されてボコボコだった路面は、走行に連れてどんどん堅く締まってコーナーとその前後にはギャップとワダチが増えていきます。その変化をどう読んで攻略するか、それが勝負の鍵になります。正にオフロードならではの醍醐味ですよね。

モトクロスの華と言えばジャンプが上げられますが、ストレートのジャンプをハイスピードでアプローチすれば、高く上がり過ぎて次の加速が遅れてしまいます。IA2 横山遥希選手などが見せてくれる「ひねり」は、それを防ぐためのテクニック。写真好きの方には絶好のシャッターチャンス。スマホで捉えられるかチャレンジするのも楽しそう。ちなみにスマホで連写するときは、画面ではなくライダーを見る感じで追うと上手く撮れると思います。

次にライダー識別の基本、ゼッケンの色について。これはクラスごとに違っていて、IA1 は白地に黒文字。逆に黒字に白が IA2、青地に白が IB、IA1と同じ白地に黒で車体の小さなマシンが LMX、以下ジュニアクラスは赤地に白、チャイルドクラスは白地に赤文字となってます。マシンのカラーは基本ホンダが赤、ヤマハは青、スズキが黄色、カワサキが緑。KTM がオレンジでハスクバーナが白。そんな中、IA1 の山本選手と IA2 の横山選手だけが赤地のゼッケンを付けていますよね。これはレッドプレートと言ってポイントランキングトップの証。開幕戦では前年度のチャンピオンが赤ゼッケンを付けることになっているので、山本、横山両選手はこれをずっとキープし続けてきたことになります。

今年は全 4 戦と例年の半分になってしまったシリーズ戦。IA1 のタイトル争いは、山本、横山両選手が圧倒的に有利な状況ですが、チェッカーが振り下ろされるまで何が起きるか分からないのがレース。レディスや IA 昇格がかかった IB クラスも最後の最後まで目が離せません。

レース中の途中経過は、予選、決勝を通じ、お持ちのスマートフォンで「CHECKLAP」というサイトに接続すれば全体の順位やタイムをリアルタイムで見ることができます。

公式プログラムのエントリーリストとライダーのゼッケンとマシンの色を照らし合わせると徐々にどれが誰だか分かるようになってくるハズ。外見でライダーの区別ができるようになると、予選、決勝レースが何倍も楽しくなります。

パドック巡りも観戦の大きな楽しみの一つです。

天候やコンディションで若干変更が出るかもしれませんが、基本土曜日は各クラスの練習走行、予選、IB Open Heat1 の決勝。日曜日は練習走行のあと各クラスの決勝と、レースは朝から夕方まで延々と続きます。練習走行のタイムや予選の走りを見て、決勝で誰が上位に来るか予想するのも楽いですが、ず〜っとレースを見続けていたらさすがに疲れますよね。そんな時はパドックにも出かけてみてください。

コロナ対策でサイン会などのイベントは行われないと聞いていますが、出店や展示ブースは必見です。特にホンダブースには、新型の CRF250L と CRF250RALLY が展示されるとのこと。CRF250RALLY は国内初展示とのことなので、ぜひチェックしてくださいね。

応援フラッグやポスターは、今大会も手渡しではなくテイクアウトになるとのこと。ソーシャルディスタンスを保ちつつ、パドック散策を楽しんでください。

また、ヘルメットやタイヤメーカーのサービスブースもお見逃しなく。カタログはもちろんポスターなどを配布していることも少なくないし、特製のノベルティグッズが貰えちゃったりもします。スタッフさんに性能や価格などを問い合わせるのもあり。忙しい時間でなければ必ず対応してもらえます。

走り終わって砂まみれになったマシンをあっと言う間にピカピカにしてしまうメカニックさんの仕事ぶりにも注目。ワークスやサテライトのトップチームは土手下のパドックエリアに展開しています。メーカーの威信を背負うライダーたちももちろんですが、プロメカニックの仕事ぶりも一見の価値があります。ライダーのコスチュームにも注目。ちょうど新型がリリースされる時期。派手なデザインばかりに目が行ってしまいますが、転倒などアクシデントが多い競技なので、危険な競技だけに安全への配慮も怠りません。モトクロスウェアーの中に着けている装具なんかもぜひご覧になってください。

頑張れの気持ちを伝えよう!

コロナ渦の応援スタイルを考える

大歓声を上げたり腕を振り回すなど大きなアクションをしてはいけないレース観戦。最初はどんな雰囲気になるのか正直不安でした。でもスポーツランドSUGOとHSR九州で行われた3大会は、どのクラスも見応えのある展開だったし、何より今までにない上位ライダーの顔ぶれで、十分盛り上がることが出来たと思います。

ここオフロードヴィレッジでも、ソーシャルディスタンスや咳エチケット、手指の消毒といった感染対策をしながらのレース観戦となります。日没時間も考慮して、表彰式はいつもの場所と時間帯ではありません。なるべく密にならないようにという配慮でもあるので、みなさんぜひ距離を取って見守ってくださいね。また、会場内にはトイレの前など各所にアルコール消毒剤が用意されています。見かけたらワンプッシュをお願いします。コロナ禍での大会運営が成功するよう皆様のご協力をお願いします!!

来シーズンの動向は ? MX の表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの画像やインサイドレポートを手元の携帯にお届けしている速報メールサービス「HYPER MXING」ですが、今年も地道にやってます。料金は基本タダ(笑)。現地情報からレース後の裏話、この時期気になる来シーズンの動向などなど、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスをお届けします。シーズンオフも様々な情報を配信します。みなさんぜひご登録ください。

編集後記

本当にあっという間のシーズンでした。名阪に広島、岩手の藤沢がない全日本はもちろん初めて。当然世界選手権やネイションズを含め海外のレースにも行けませんでした。

来年はいつも通りのシーズンに戻って欲しいなぁ。ライダーや関係者の情熱ももちろん大事ですが、ファンの応援がなければレースは成り立たない。…と言うわけで、みなさんなにとぞお元気で ! 来シーズンもどうぞよろしくお願いします !!

MXING & MC Square 木田 淑

モトショップシロタ 群馬県高崎市中尾町456-4 TEL 027-361-0222
国内4メーカー KTM、TRIUMPH 他 正規取り扱い
全日本モトクロス OB 城田賢一が店長やってます!
国道17号線前橋ICそば
営業時間 9:00〜19:00 (月曜定休)
HP:motoshop-shirota.jp

モトクロスを応援しています!!
レーシングチーム鷹&星野優位 頑張れ!!
エコーロジテム株式会社
埼玉県川口市柳崎2-19-38
048-263-7611
www.echo-logitem.com

Arai HELMET
安全性能の追求!
株式会社アライヘルメット
〒330-0841埼玉県さいたま市大宮区東町2-12
TEL(048)641-3825
http://www.arai.co.jp/

RIDING SPOT PERFORMANCE PRODUCTS.
モータースポーツからツーリングまでバイクライフをサポートする
(有)ライディングスポット
横浜市戸塚区上倉田1767
Tel.045-862-4878

全日本モトクロス新聞 MXING MOTOCROSSING
制作・発行 / MC Square 木田 淑
〒970-1152 福島県いわき市好間町中好間田中62
Tel. & Fax. 050-1536-5147
E-mail: kida@mxing.com
HP:http://www.mxing.com
出力・印刷 / 東京カラー印刷株式会社
〒120-0024 東京都足立区千住関屋町5-27
Tel. 03-5284-1173 Fax.03-5284-1174
HP:http://www.tcpc.co.jp
全日本モトクロス選手権大会毎発行・無料

PREVIEW-Off Road Village

開幕から8ヒートを戦って5勝、圧倒的な強さで連覇に王手をかけ地元埼玉に帰ってきたディフェンディングチャンピオン#400山本 鯨。優勝で連覇に華を添えられるか!? *Photo/T.Yasukouchi*

新型コロナウィルス感染拡大の影響で変則スケジュールとなった今シーズンの全日本モトクロス選手権。シリーズ第6戦(最終戦)は、11月28〜29日に埼玉県川越市のウエストポイント・オフロードヴィレッジで開催される。連覇に向かって盤石の走りを見せるIA1クラス山本 鯨とIA2クラス横山遥希、悲願の初タイトルに王手をかけたLMXの川井麻央はいずれも埼玉で生まれ育ったライダー。地元での戴冠へ、ファイナルバトルに熱い視線が注がれる!!

マナーを守って楽しく観戦しよう!
1.入場時には検温と体調チェックに協力を
2.マスク着用と咳エチケットを守ろう!
3.声援は我慢、フラッグや拍手で応援しよう!
4.ソーシャルディスタンスを確保しよう!

国内最高峰クラス2年連続3度目のタイトルに挑む山本

新型コロナウィルス感染拡大の影響でスケジュールが大幅に変更され全 4 戦の短期決戦となった今シーズンの全日本モトクロス。国内最高峰 IA1 クラスでは、ディフェンディングチャンピオン**山本 鯨**(#400 /ホンダ)が圧倒的な強さで開幕からリードを続けてきた。今シーズン IA1 クラスにのみ採用された新たなレースフォーマット「トリプルヒート」を含め、ここまで 8 戦中 5 勝、表彰台フィニッシュが 100% という強さは正に圧巻。2 年連続 3 度目となるプレミアクラスのタイトル獲得に向けてひた走る。

ポイントランキング 2 番手に付ける**富田俊樹**(#317 /ヤマハ)との間にはすでに 31 ポイントの大差が広がっており第 1 ヒート終了時点でタイトルが決まる公算が大きい。山本が勝って決めるのか、あるいは富田や今シーズンからプレミアクラス IA1 へのチャレンジを開始したヤマハワークスの**渡辺祐介**(#110 /ヤマハ)や**能塚智寛**(#555 /ホンダ)が一矢報いるのか。V12 通算 161 勝という金字塔を打ち立て今季限りでの引退を表明していた**成田 亮**(#982 /ホンダ)が自身のトラブルで欠場となったのは非常に残念だが、ランキング上位の 4 人はいずれも 20 代のライダー。新たな時代を築こうと懸命に力を伸ばしてきたトップライダーたちの全力バトルをまずは堪能して欲しい。

連覇に挑むチャンピオン横山との若さ溢れるバトルに注目 IA2

速度を維持しながら飛距離を抑えるためにジャンプでマシンを捻るスクラブというテクニック。アグレッシブなライディングをトレードマークに IA2 クラスを席巻しているのがカワサキワークスの**横山遥希**(#1)だ。開幕戦第 1 ヒートこそ転倒で 5 位に甘んじたものの、横山はそこから 5 連勝をマークしてライバルに付け入る隙を与えない。

懸命に横山を追う**大城魁之輔**(#36 /ホンダ)や**大倉由揮**(#31 /ヤマハ)、**浅井亮太**(#41 /ヤマハ)。開幕戦でクラス初優勝を飾った**内田篤基**(#39 /スズキ)や 26 歳でこのクラス最年長の**小川孝平**(#912 /カワサキ)に加えて、ヤマハの**中島漱也**(#01)や**袴田哲弥**(#02)、**小笠原大貴**(#04)ら 10 代のルーキーたちがチャンピオン横山を相手にどう戦うか、フレッシュなバトルに期待が高まる。

なるかパーフェクトシーズン!? 全勝川井に挑む本田と久保

開幕戦で 3 年ぶりの優勝を飾ると、一気に波に乗って 3 連勝をマークした**川井麻央**(#3 /ホンダ)。地元での初戴冠を目指す川井に対し、このまま引き下がるわけに行かないのがディフェンディングチャンピオンの**本田七海**(#1 /ヤマハ)だ。ここまで 2-3-2 位で川井の後塵を拝してきた本田だが、両者の差は僅か 11 ポイントで逆転の可能性はまだ十分にある。

地元で勝ってタイトルを決めたいと宣言した川井と苦渋を舐め続けてきた本田。両者の対決にまずは注目。ここにハスクバーナを駆る**久保まな**(#4)が割って入ることが出来るか、レディスの熱い戦いに注目して欲しい。

また LMX クラス一昨年のチャンピオンで、昨シーズン世界選手権に挑戦した**粉川**(旧姓畑尾)**樹璃**(#63 /ホンダ)は今回も IB Open クラスにチャレンジする。その IB Open クラスでは地元関東勢が IA 昇格目指して鎬を削っている。未来のスターライダーの宝庫、ジュニアやチャイルドクラスにもぜひ注目して欲しい。誰か一人に注目するとレースが何倍も面白くなる。公式プログラムで各ライダーの出身地チェックし、地元ライダーには特に温かい応援を送って欲しい。

2020 全日本モトクロス選手権シリーズ スケジュール

第1戦	SUGO大会	8月29〜30日	宮城県/スポーツランドSUGO
第2戦	近畿大会	中 止	奈良県/名阪スポーツランド
第3戦	SUGO大会	10月3〜4日	宮城県/スポーツランドSUGO
第4戦	中 止	10月30〜11月1日	
第5戦	MFJ-GP	11月14〜15日	熊本県/HSR九州
第6戦	関東大会	11月28〜29日	埼玉県/オフロードヴィレッジ

全日本モトクロス選手権 第6戦 関東退化 開催おめでとうございます。

HONDA SUZUKI YAMAHA Revs Your Heart Kawasaki

携帯、スマホでこのQRコードにアクセスすると、今大会のタイムスケジュール、予選結果(決勝スターティンググリッド)、リアルタイムリザルト(決勝結果)の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebookやTwitterなど、全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご活用ください。